

敷地東側の幹線道路から建物外観を見る。カフェ空間は軒を低くし、ヒューマンスケールを意識した。ドローンの展示空間は高さのあるボリュームとし、2つの異なるボリュームを組み合わせた構成とした。

奥平測量設計事務所新社屋 cielo espresso coffee

結節点を作る — 社屋と地域をつなぐカフェー

本計画は、静岡県藤枝市に拠点を置く株式会社奥平測量設計事務所の新社屋の計画である。

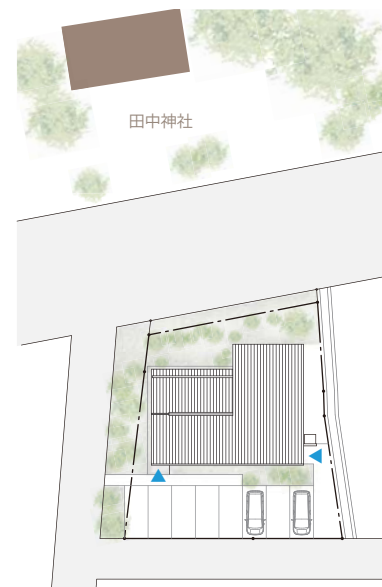
事業主の活動は主に森林の調査である。昨今ドローンを活用した調査が中心となり、ドローンは必要不可欠なものとなっている。森林の調査は地元を守る大切な事業であるが、直接的な地域住民との関りは薄い。事業主は、働く場を豊かな場所にしたいという想いと共に、社員とのコミュニケーションだけでなく、積極的に地域の方々との交流を深めたいという想いがあった。そのような想いもあり、オフィス機能だけでなくドローンの展示やドローンスクールそしてカフェ運営を新規事業として立ち上げることとなり、本計画のプログラムに加わった。

敷地は幹線道路沿いに位置している。交通量が多く、忙しい道路から距離を置くため、幹線道路と建物間に緩衝帯と

しての庭を設けた。幹線道路を挟んだ向かい側の田中神社は豊かな緑地を抱えている。その豊かな緑地が敷地を超えて地域に繋がっていくような意識で庭を設えた。

1階は事務所の受付とカフェそしてドローンの展示空間、2階は事務室を配置した。1階のカフェや展示空間は、一般の利用はもちろんのこと、会社の受付も兼ねている。社内の打ち合わせや社員の休憩スペース、ドローンスクールの場として2階のオフィス業務とも連動して使用されている。オフィス空間とカフェは階で区切られているが、吹き抜けを介して繋がりをもっている。

本計画ではふたつの異なる吹き抜けを配置している。居室の繋がり方や外部への開き方を変化させることで、利用する特定の居室だけで完結するのではなく、他の空間にも自然と意識が向くような構成を目指した。



■配置図 scale=1:800

■建築概要

所在地：静岡県藤枝市大手

計画区域：市街化区域

用途地域：準住居地域

防火地域：準防火地域

主要用途：事務所+物販店舗(飲食店併用)

構造：木造在来軸組工法

階数：地上2階

工期：2022年2月～2022年9月

最高高さ：8.220m

敷地面積：468.69㎡

建築面積：166.87㎡

延床面積：274.69㎡

建蔽率：35.61%

容積率：58.61%

■主な外部仕上げ

屋根：厚0.4ガルバリウム鋼板 立平葺き

外壁：厚0.4ガルバリウム鋼板 横葺き

：磁器質タイル貼り

：窯業系無塗装サイディング 塗装

■主な内部仕上げ

[店舗]

床：塩ビタイル

壁：塗装

天井：塗装

：厚5.5シナ化粧合板 目透かし貼り

[事務所]

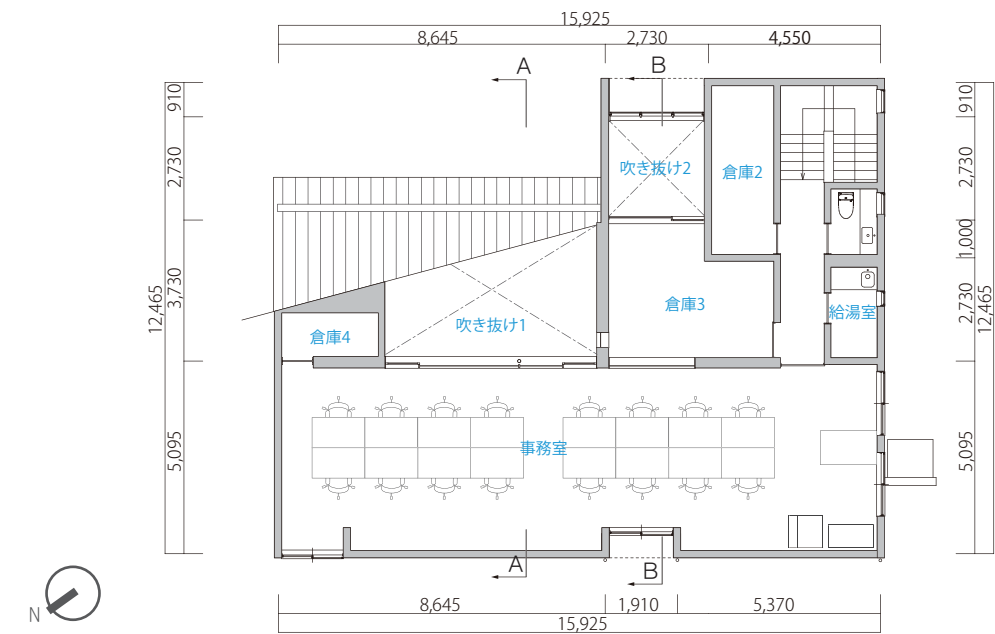
床：塩ビタイル

壁：ビニルクロス貼り

天井：ビニルクロス貼り



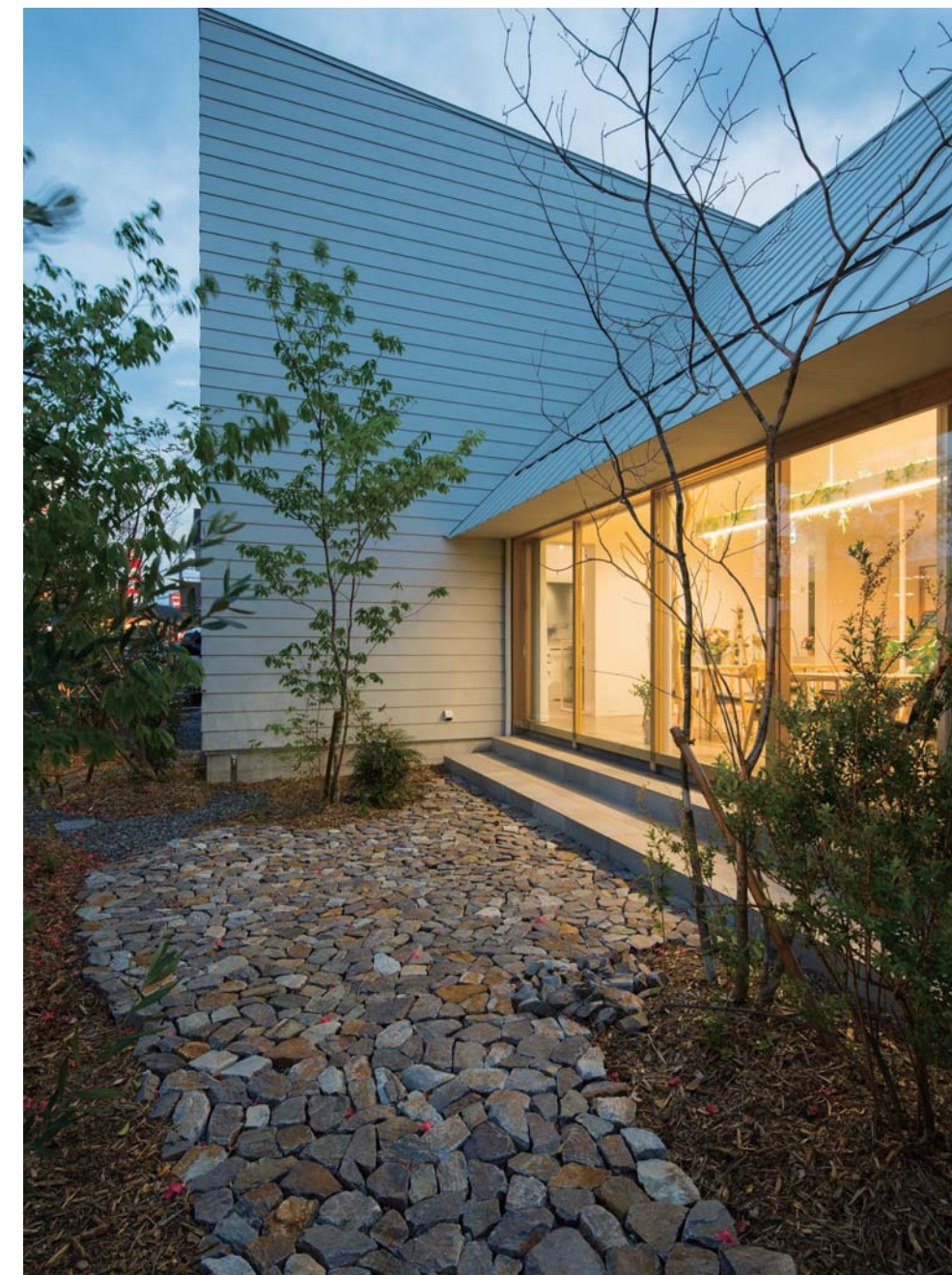
■配置図兼1階平面図 scale=1:200



■2階平面図 scale=1:200



カフェを見る。吹き抜けの天井を勾配天井とすることで、2階事務室と屋外へ方向性を強調した。



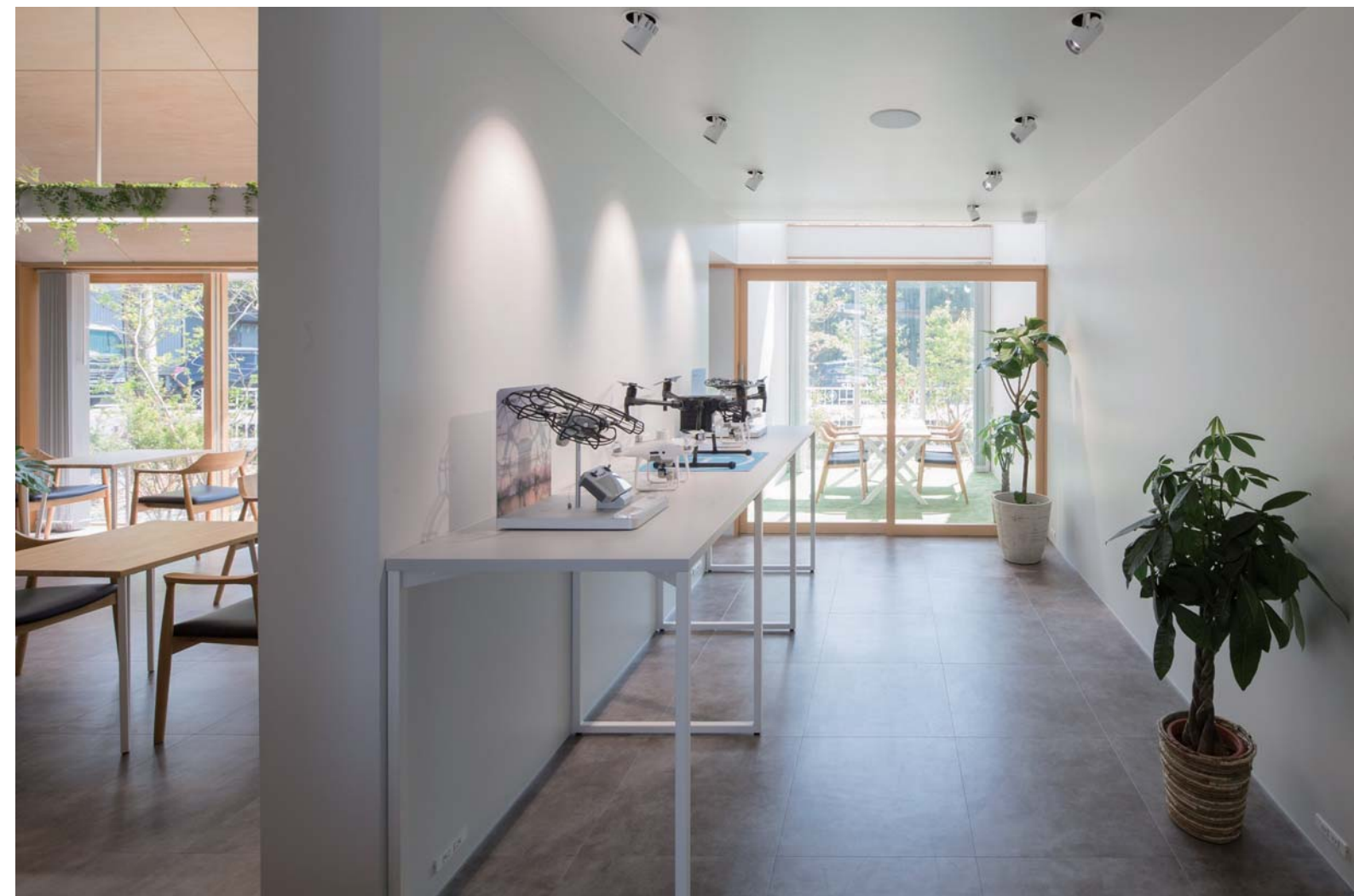
屋外からカフェを見る。庭の緑地は幹線道路との緩衝帯となる。



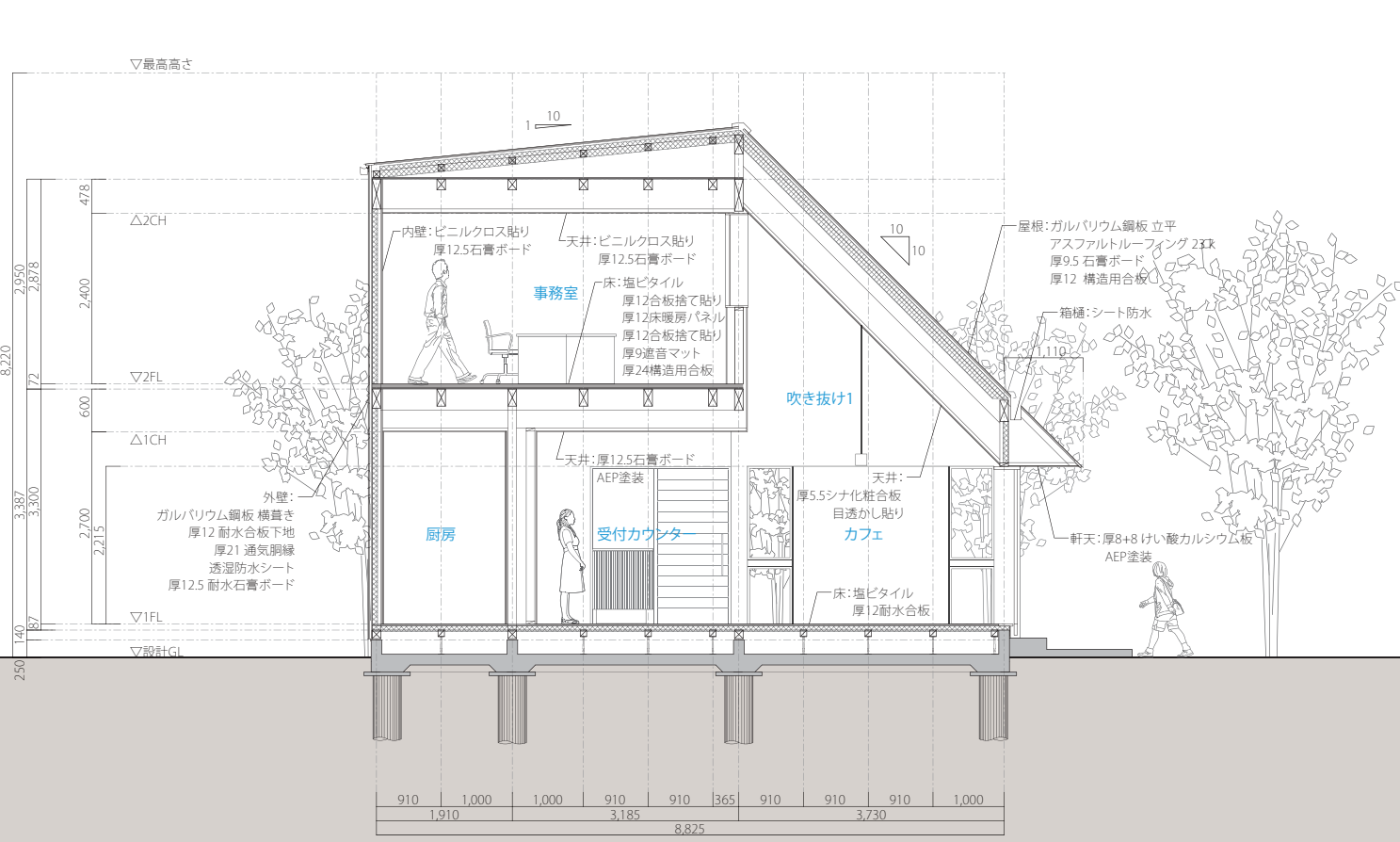
カフェから幹線道路側を見る。田中神社の緑地を借景として室内へ取り込む。



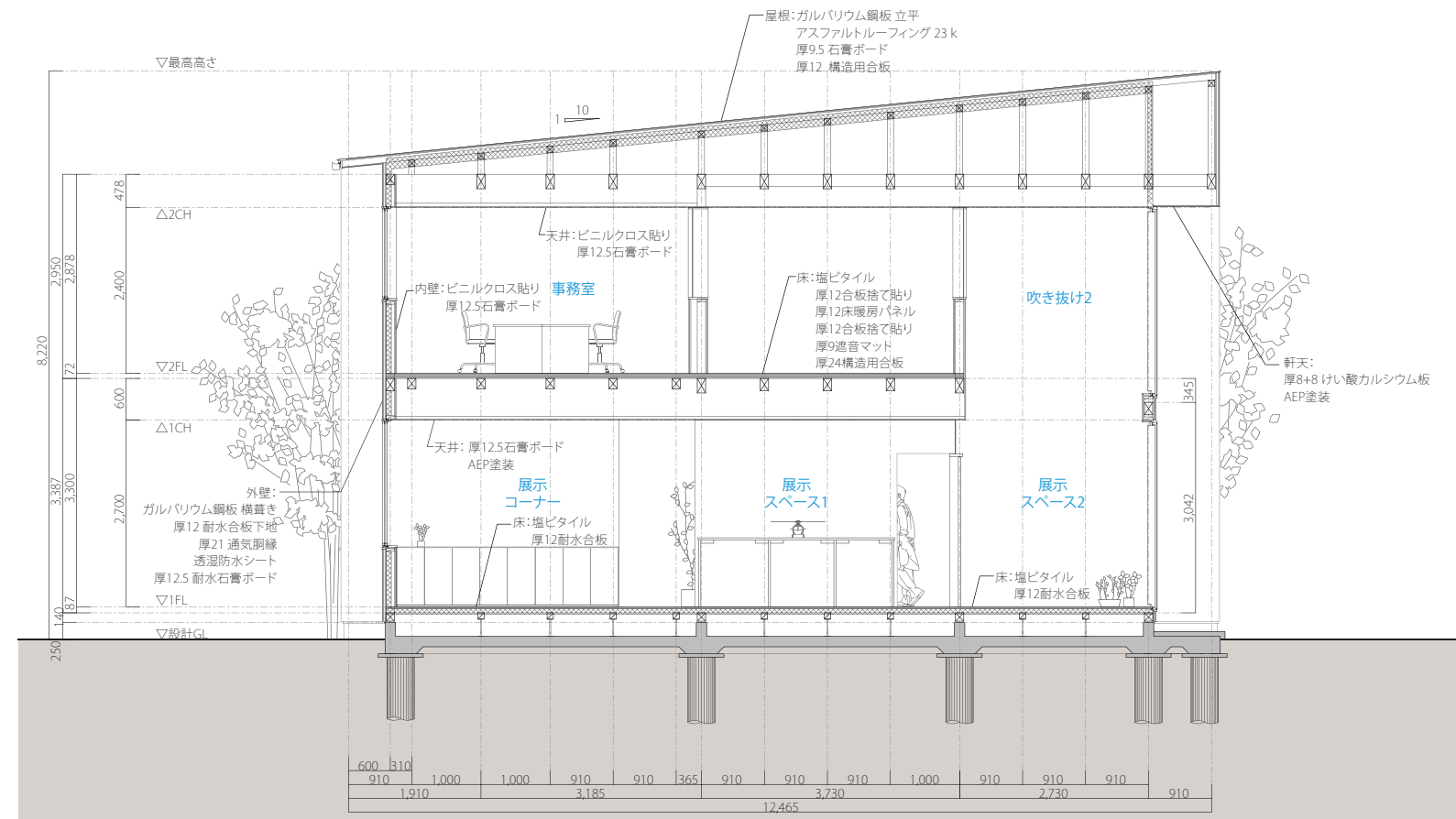
カフェと受付カウンター。測量事務所の受付であり、社員のための憩いの場であり、一般の方も利用できるカフェとして地域にも開かれた場となっている。ドローンの教室としても利用する多目的なスペースである。



展示コーナーから展示スペースを見る。展示スペース1はドローンの展示スペースとして利用し、展示スペース2はドローンの操縦体験もできるように吹き抜けとなっている。



■A断面図 scale=1:100



■B断面図 scale=1:100



1階カフェから2階(事務室)を見る



事務室から1階カフェを見る



敷地東側から建物外観を見る



ふたつの異なる吹き抜け空間をを外部から見る。客席としても利用するホールは、サッシの高さをFL+2170に抑え、水平に広がり繋がることを意識している。ドローンの展示空間と打合せスペース2は、垂直方向を意識し、空へ向かって伸びやかに繋がる。